



み か づ き こ 三日月湖はどうしてできるの

かわ ま が っ て な が 川は曲がって流れる

かわ は、ふつう、少しは曲がって流れています。とくに川の^{かわ}下流^{かりゅう}では流れがおそいので、わずかに、^{なが}流れを^さえぎるもの^もがあっても、^{なが}流れの向き^を変えてしまうことが、よくあります。

川が曲がっている所では、^{なが}流れの速さは^は外側^ののほうが速く、^{なが}内側のほうがおそくなっています。^{なが}流れが速い^は外側の水は^は岸^ををけずり、^{なが}けずられたものは^{つぎ}次の曲がり角^の内側に^つ積もります。

^{なが}長い年月の間には、^{かわ}川の^は外側は^まますます^けずられ、^{かわ}川の^は内側には、^つけずられたものが^つ積もるといことが^{かえ}くり返されます。このようにして、^{かわ}川の^ま曲がり方が^{かた}大きくなります。

ま が っ た ぶ ぶ ん が そ の ま ま と り 残 さ れ る 曲がった部分がそのまま残り残される

川の^ま曲がり方が^{かた}だんだん^お大きくなってきたときに、^{こう}洪水などで、^{かわ}川の水が^ま曲がった所^を通らずに、^{あた}まっすぐに^あ新しい川^をすじをつくる^こことがあります。そうすると、^ま曲がっていた部分^がと^り残されて、^の三日月^のような形^をした^こ湖^になる^こことがあります。これを^み三日月湖^といいます。^ほ北海道の^い石狩川^の下流には、^み三日月湖^がいくつ^か見られます。

(監修・国司 真)

三日月湖のできるまで

